

名古屋大学高等教育研究センター
 第8回「アドミッション担当教職員支援セミナー」
 名古屋大学大学院教育発達科学研究科附属高大接続研究センター
 「レクチャーシリーズ」公開研究会

韓国の大学入試改革の現在 —私教育抑制政策と教育機会の格差—

日時: 2018年10月26日(金)

講演者: 松本麻人

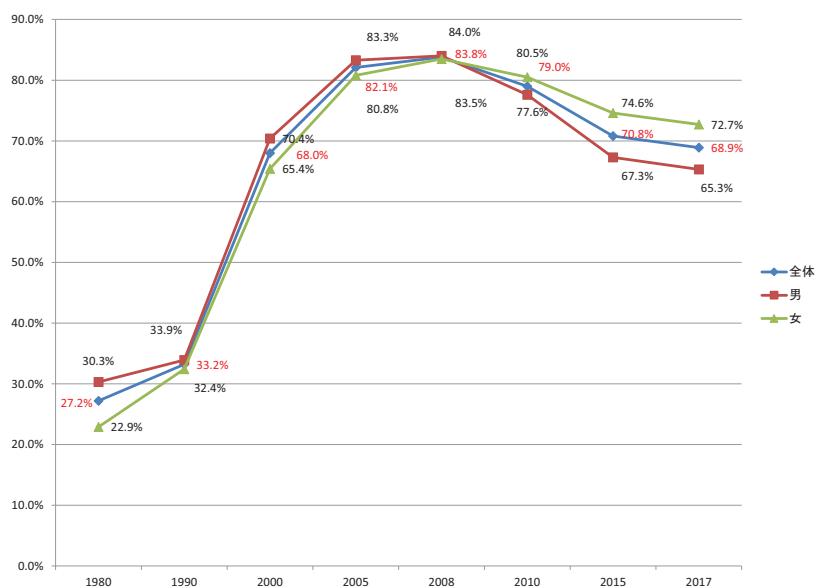
名古屋大学大学院教育発達科学研究科 准教授

韓国の大学受験競争



大学修学能力(修能)試験
 当日の様子

図: 大学等進学率の推移(1980~2017年)



(出典) 教育部『教育統計分析資料集2017』から作成。

図1: 高校種別の大学等進学率

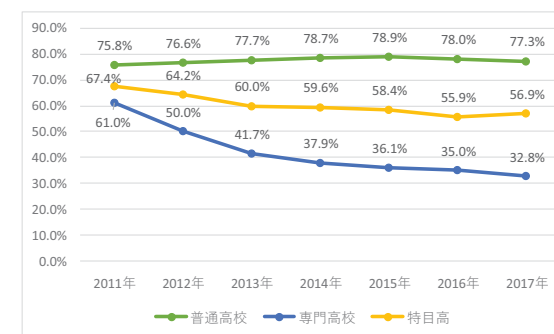
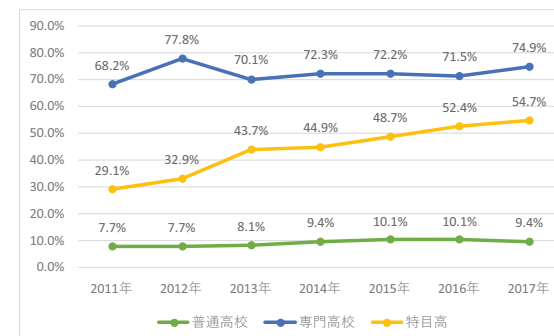


図2: 高校種別の就職率



(出典) 教育部『教育統計分析資料集2017』から作成。

I. 入試制度の概要

○「定時試験」

- ・1月に選抜試験を実施。
- ・修能試験及び面接、論述など。

○「随時試験」

- ・9~12月上旬に選抜試験を実施。
- ・修能試験以外の資料を重視する多様な選抜を実施。

5

選抜の資料

○ 修能試験

- ・年に1回、1日で全ての試験を実施。
- ・「韓国語」、「数学」、「英語」、「社会／科学／職業探求」、「第2外国語／漢文」の5領域37科目。
- ・全てマークシート形式。数学の問題の一部を除き、多肢選択式。
- ・結果は、各教科の標準得点と百分位数及び9段階の等級で示される。

6

○学校生活記録簿(学生簿)

- ・全国統一の書式で、高校教員が作成。
- ・学籍事項や出欠状況のほか、校内受賞歴、資格取得歴(専門高校など)、進路希望、「創造的な体験活動」の状況、教科学習発達状況、読書活動状況、行動特性及び総合意見などについて記載。
- ・教科学習発達状況は、科目ごとに「点数／平均点」と絶対評価による達成度(5段階)、相対評価による「席次等級」(9段階)が記載。

7

○面接・実技

- ・各募集単位で実施。実技は、運動や芸術系の専攻で実施される。
- ・面接の内容は、各大学によって様々である。入学難易度が高い大学においては、高度な専門知識が必要とされる口述試験が実施される。

○論述

- ・論述の内容は、各大学によって様々である。入学難易度が高い大学においては、高度な知識が必要とされる論述試験が実施される。

8

문제지

2015학년도 대학 신입학생 수시모집 일반전형 면접 및 구술고사

사회과학

제시문 1

(가) Democracy often refers to both an ideal, which is probably unattainable, and an actuality.¹ Each eligible voter in a democracy must have her vote counted the same as everyone else's, regardless of an individual's personal characteristics. Only citizens must count only count equally, but have the same respect² of being counted as well. Contrary to the common perception, however, making a country more democratic does not necessarily require more democracy. The solution isn't always more democracy; it's better, smarter democracy.

¹Equality: 실제, 사실. ²Respect: 존경, 가늠

(나) [그림] 아래 대용량 인가의 한계 부양기간 현안문 부호를

• 미국은 남북전쟁 이후 점차적으로 참정권을 확대해 1971년에는 18세 이상 21세 미만 시민에게도 투표권을 보장했다.

• 케네디(1964-1975)를 반대한 정년층은 사회운동에 동향해 정권 당 주류 현안에 대한 정치참여 기회를 요구했다.

• 미국에서는 후원이 불확실 한 거주지에 대한 투표할 수 있도록 대학장은 제하 중 학교 스카우터에서 투표하기 어렵다. 이 문제와 관련하여 2008년 대선 직전에 큰 영향이 있었던 선거법개정문. 각 정당과 후보들이 특정 유권자 계층을 겨냥하는 것으로 여겼기 때문에 무산되었다.

1-1. (가)의 밑줄 친 부분과 같은 관점에서 (나)의 지문을 보고 추론할 수 있는 내용을 설명하시오.

1-2. 우리나라에도 선거 연령 하향 조정, 제2 투표소 설치 가능, 전자 투표 도입 등에 관한 논의가 있다. (가)의 의미를 토대로, 이러한 논의에 대한 자신의 의견을 '대입준우의 구상'과 연계하여 제시하시오.

※ 밑줄 친: 밑줄 친 문맥으로 사용할 수 없으며, 밑줄 친 연결 및 절제도 금지합니다.

(例)
ソウル大学社会科学系
口述

- 問題文の提示とともに、30分の準備時間(思索時間)。
- 15分間の口頭試問

(出典)ソウル大学ウェブサイト(<http://admission.snu.ac.kr/samples>) 9

(例)
ソウル大学自然科学系
学系
論述

(문제 2) 다음 제시문을 읽고 아래 질문에 답하시오.

(가) 함수 $f(x)$ 는 실수 전체의 집합 \mathbb{R} 를 정의역과 공역으로 갖는 연속 함수이다. 포물선 $y = x^2 + px$ 를 생각하자. 함수 $y = x^2 + px - f(x)$ 는 상수 p 의 값에 따라 최솟값을 가질 수도 가지지 않을 수도 있다. 집합 A 를 다음과 같이 정의한다.
 $A = \{p \in \mathbb{R} \mid x^2 + px - f(x) \text{가 최솟값을 가진다.}\}$
 함수 $F(p)$ 는 $p \in A$ 에 대하여 $x^2 + px - f(x)$ 의 최솟값을 대응하는 함수이다. 집합 B 를 다음과 같이 정의한다.
 $B = \{x \in \mathbb{R} \mid \text{어떤 } p \in A \text{에 대하여 } x^2 + px - f(x) \text{는 } x = p \text{에서 최솟값을 갖는다.}\}$

(나) 연속 함수 $g(x)$ 에 대하여 부등식 $g(x) \geq f(x)$ 가 모든 실수 x 에 대하여 성립하고 등호는 단 한 점에서만 성립하면 곡선 $y = g(x)$ 가 곡선 $y = f(x)$ 의 위쪽에서 단 한 번 만난다고 한다.

(다) 두 실수 a, b 에 대하여 $\min(a, b)$ 는 다음과 같이 정의한다.
 $\min(a, b) = \begin{cases} a, & a \leq b \\ b, & a > b \end{cases}$

[2-1] 함수 $f(x)$ 의 도함수 $f'(x)$ 가 모든 실수에 대하여 존재하고 또한 연속이라고 가정하자. 집합 $A = \{1\}$ 이고 $B = \{-1, -2\}$ 인 함수 $f(x)$ 를 모두 찾고 그 이유를 설명하시오. 집합 $A = \{0, -1\}$ 인 함수 $f(x)$ 가 존재하는지를 판단하고 그 이유를 설명하시오. [8점]

[2-2] 포물선 $y = x^2$ 을 x 축과 y 축의 양의 방향으로 각각 a, b 만큼 평행이동 하면 곡선 $y = f(x)$ 의 위쪽에서 단 한 번 만난다고 하자. 이 정보를 가지고 집합 A 의 원소 p 를 최소한 1개 찾아서 a, b 에 대한 식으로 표현하고 $F(p)$ 를 구하시오. [8점]

[2-3] 함수 $f(x)$ 의 최댓값이 존재한다고 가정하자. 이 때 집합 A 를 구하고 그 이유를 설명하시오. [8점]

[2-4] 함수 $f(x) = \min(ax + b, cx + d)$ 에 대하여 (단, $a < c$) 집합 A 와 B 를 찾고, $F(p)$ 를 a, b, c, d 와 p 에 대한 식으로 나타내시오. [10점]

(出典)ソウル大学ウェブサイト(<http://admission.snu.ac.kr/samples>) 10

○その他

- 出願資格が限定される特別選考で用いられる資料。
- 各種大会(スポーツの競技大会や数学オリンピック、美術公募展など)の入賞実績。
- 外国語能力試験(TOEIC、TOEFLなど)の成績。
- 特定教科の成績など。

選抜の方法

- 「修能試験＋面接・論述＋学生簿」が最もオーソドックであったが、近年は面接と書類選考だけで選抜する募集も増えている。

表：類型別の選抜実施状況(2016年度入学試験)

募集区分	入試の類型	募集定員(全体の割合)
随時募集	学生簿中心(教科)	140,181名(38.4%)
	学生簿中心(総合)	67,631名(18.5%)
	論述中心	15,349名(4.2%)
	実技中心	17,118名(4.7%)
	その他	3,469名(0.9%)
定時募集	修能中心	105,304名(28.8%)
	実技中心	14,365名(3.9%)
	学生簿中心(教科)	434名(0.1%)
	学生簿中心(総合)	1,412名(0.4%)
	その他	46名(0.0%)
合計		365,309名(100%)

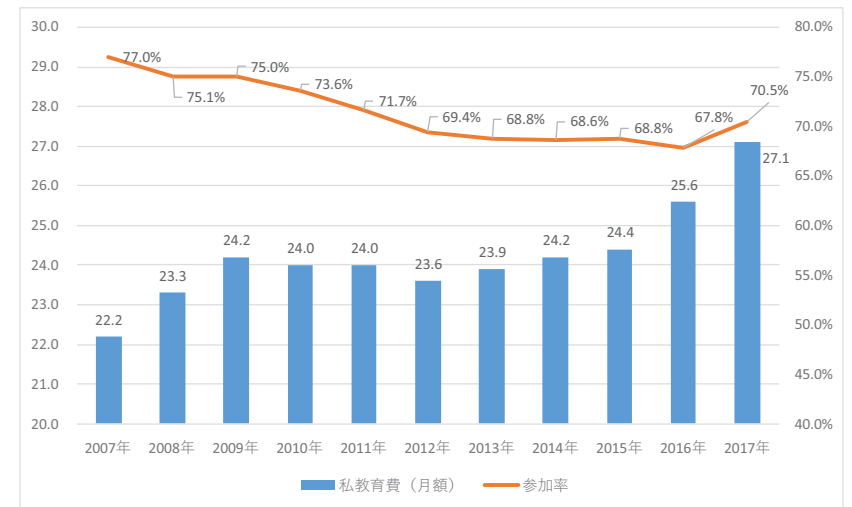
(出典)大学入試情報ポータルサイト(<https://www.adiga.kr/>)

○ 入学査定官制(学生簿総合選考)

- ・入学査定官(Admission Officer)による、主に書類選考と面接による選抜。
- ・入学査定官は、「修能試験の成績以外に学生簿、人格・能力・素質・指導性及び発展可能性と逆境克服経験等、志願者の多様な特性と経験を入学選考資料として生産・活用し、学生を選抜する業務を専門に担当する教員または職員」(「高等教育法」第34条の2)
- ・随時試験で実施されることがほとんどであるため、修能試験は最低限の「学力保障」の成績が求められるにとどまる。近年は、修能試験の成績を求めない募集も多い。

13

私教育規模の推移



14

私教育の問題点

- 中等教育の平準化政策により、家庭の私教育費は学習塾や家庭教師に集中
- 家庭の経済格差と私教育の教育機会の格差の連動
- 受験競争の「公正性」の棄損
- 階層の再生産

15

入試改革の経過

- 1969年、大学入学予備考試
- 1980年代、論述と面接の導入
- 1994年、大学修学能力試験の導入
- 1997年、学校生活記録簿の導入
国公立大学における本考試禁止
- 2002年、私立大学における本考試禁止
- 2008年、入学査定官制の本格的な導入

16

近年の入試改革の背景

- 創造力、問題解決能力、特技、リーダーシップ、ボランティア精神などを備えた人材の必要性
- 高校教育の多様化の必要性和、それへの大学入試の対応

(出典:教育人的資源部「学校教育正常化のための2008年度以後大学入学制度改善案」2004年10月)

17

入試改革に期待される成果

- 非生産的な私教育費の減少
- 塾より学校教育の重視
- 学校の授業と受験準備の二元的状況の解消
- 「解答テクニック」学習の弊害克服
- 知識情報化社会で要求される人材輩出

(出典:教育人的資源部「学校教育正常化のための2008年度以後大学入学制度改善案」2004年10月)

18

私教育抑制政策の展開

- 「学院の設立・運営及び課外教習に関する法律」に基づく規制の強化
- 「高校教育寄与大学支援事業」の導入
— 口述試験や論述における出題内容の難易度抑制
- 修能試験とEBS(教育放送)教材の内容の連携強化
- 入試における学校生活記録簿の重視(入学査定官)

19

低調な入学査定官制

- 導入は限定的(18.5%)
 - 名称変更(2015年度試験～)
- 入学査定官制 → 学校生活記録簿総合選考
— 「学生簿重視の選考」の強調
— 入学査定官の専門性に対する社会の懐疑の回避?

※国民の63%が査定官選抜を「信頼しない」(2010年2月調査)

※査定官の多くは教員が兼務

20

韓国の課題

- 高校の「平準化」に伴う大学受験競争の過熱と私教育の拡大。
- 家庭の経済格差の拡大。高等教育機会の平等性確保のための私教育抑制。
- 政府主導の私教育抑制政策(試験の難易度制限政策)により、上位層の大学は面接や論述による選抜を強化。

○ ソウル市内Y大学

- 「入学査定官制度の導入以前は、知識中心の学習により、ある程度は様々な階層の学生が入学できた」「査定官制導入後は、(文化資本が豊かな)富裕層の子弟ばかりが入学するようになった」
- 教科成績以外の資料重視の方針に伴い、多様な社会・文化的経験の重要度が向上。家庭の文化資本の程度が重要に。
 - 入試改革の教育的な意義に関する議論の不在。